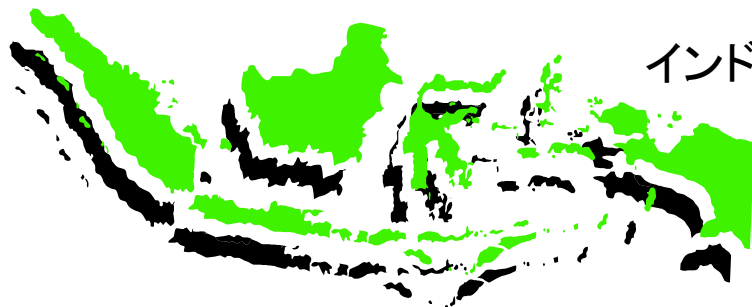
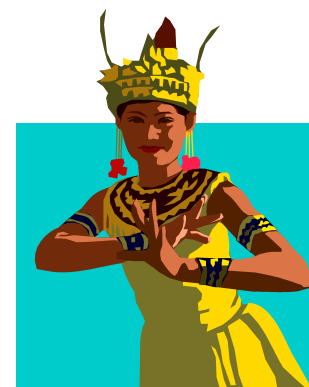




# インドネシア工場の 職種別現地人材育成の手引き



インドネシア進出サポート  
小野耕司





# 自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立  
インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家


独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社



インドネシアとの  
関わりも50  
年になりました  
た



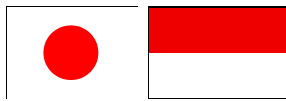
# セミナー要旨



- 筆者はインドネシア駐在当時から、駐在員の最大の使命は、自身が帰国する際に、代わりになれるインドネシア人社員を育成することであると、確信していました。
- インドネシア政府の外国人労働者雇用法においても、駐在員に各人に対しては、後任となるべきインドネシア人を指名し、3年から5年以内にそのことを完了することを前提に、以降は就労ビザを更新しないと定めています。
- しかし実態は、日々の仕事に追われて、人材教育に時間を割り当てられないとか、何を勉強させたら良いのか分からない、と言う方が多いのではないのでしょうか。
- そこでこのセミナーでは、インドネシア工場の職務別に、それを担当するインドネシアスタッフに、何を勉強させるべきなのかを、筆者自身の体験を基に解説します。



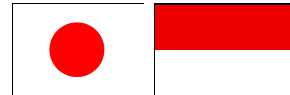
# 目次



1. 経営企画
2. 商品開発
3. 市場開拓
4. 需給管理
5. 調達管理
6. 生産管理
7. 販売管理
8. 顧客管理
9. 人材管理
10. 情報管理
11. 財務管理
12. 環境管理
13. 渉外管理
14. 知財管理



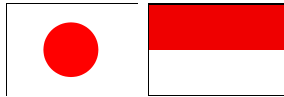
# 1. 経営企画



目指す人材像		自社のリソースと市場を把握し、5ヵ年事業計画を立案出来る。
学歴、年齢、職級		大学卒業、40歳以上、課長または部長
教育テーマ		教育カリキュラム概要
1	SWOTクロス分析	自社が目指す事業の強み・弱み・機会・脅威と、それぞれのクロス分析から、事業戦略を導き出す手法を習得する。
2	事業戦略策定	事業概要、販売活動、仕入・生産活動・アフターサービス、人員計画、リスク対応を文書化して、関係者間で共有する手法を習得する。
3	事業戦略数値化	事業戦略を実現するための手段を、財務諸表で数値化する手法を習得する。
参考資料		<a href="#">インドネシア進出の業種別SWOT分析</a> <a href="#">SWOT CROSS分析シート</a> <a href="#">インドネシア工場5ヵ年事業計画書の作り方</a> <a href="#">5ヵ年事業計画書フォーマット</a> <a href="#">簿記を知らない人のためのインドネシア工場経営</a> <a href="#">インドネシア事業戦略をバリューチェーンで考える</a>



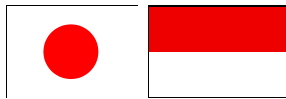
## 2. 商品開発



目指す人材像	自社のリソースと市場の要求を基に、新商品を企画開発することが出来る。
学歴、年齢、職級	大学卒業、40歳以上、課長または部長
教育テーマ	教育カリキュラム概要
1 既存商品の改良	既存のサプライチェーンを前提に、仕様変更の可能性を分析し、改良品を評価する指標を理解する。
2 新商品の開発	新商品の仕様を企画し、それを実現するためのサプライチェーンを構築し、新商品を評価する指標を理解する。
3 新技術の開発	新技術の開発を企画し、それを実現するためのシステムを構築し、新技術を評価する指標を理解する。
参考資料	<a href="#">海外進出の是非を判断するための指針</a> <a href="#">インドネシアで成功している日本企業の共通点</a>



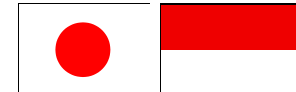
### 3. 市場開拓



目指す人材像		自社商品の新規需要を4Pに基づき掘り起こし、最終顧客までのサプライチェーンを構築することが出来る。
学歴、年齢、職級		大学卒業、40歳以上、課長または部長
教育テーマ		教育カリキュラム概要
1	Product 商品	市場が求めている商品を調査分析する手法を習得する。
2	Place 対象	新規商品を必要とする顧客層や地域を調査分析する手法を習得する。
3	Price 価格	新規商品が売れるための小売価格を調査分析する手法を習得する。
4	Promotion 販促	新規商品を市場に周知させるための手法を企画する手法を習得する。
参考資料		<a href="#">インドネシアでの業種別市場開拓手法</a> <a href="#">ビジネスマッチングで成果を出す秘訣</a> <a href="#">おもしろアイデアインドネシアのブルーオーシャン市場</a> <a href="#">インドネシアEC業界の実態</a> <a href="#">インドネシアの産業展示会で顧客を開拓するコツ</a> <a href="#">インドネシアと日本の物価徹底比較</a> <a href="#">インドネシアの産業別市場規模</a> <a href="#">インドネシア主要21都市基礎情報</a>



## 4. 需給管理



目指す人材像	市場の需要と自社の供給能力が最適となり、かつ予算に合致する販売・生産・調達および在庫計画を立案することが出来る。
学歴、年齢、職級	大学卒業、40歳以上、課長または部長
教育テーマ	教育カリキュラム概要
1 CPFR	Collaborative Planning Forecasting Replenishment 協業による計画立案、予測立案、補充システムを習得する。
2 CRM	Customer Relationship Management 顧客情報管理システムを習得する。
3 ERP	Enterprise Resources Planning 企業基幹業務管理システムを習得する。
4 MRP	Material Requirements Planning System 資材消費計画システムを習得する。
5 S&OP	Sales and Operations Planning 販売と業務計画システムを習得する。
6 SCORモデル	Supply Chain Operation Reference サプライチェーンの可視化による管理技法を習得する。
7 EDI	Electronic Data Interchange 取引業者とのデータ共有システムを習得する。
参考資料	<a href="#"><u>インドネシア工場のサプライチェーンを改善する</u></a> <a href="#"><u>インドネシア工場のサプライチェーン改善技法</u></a>





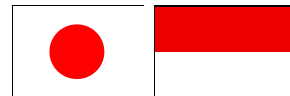
# 5. 調達管理1/2



目指す人材像		販売計画および生産計画と、調達先の供給能力が最適となる部材の調達計画および在庫計画を立案することが出来る。
学歴、年齢、職級		大学卒業、30歳以上、課長または課長候補
教育テーマ		教育カリキュラム概要
1	CPFR	Collaborative Planning Forecasting Replenishment 協業による計画立案、予測立案、補充システムを習得する。
2	ERP	Enterprise Resources Planning 企業基幹業務管理システムを習得する。
3	MRP	Material Requirements Planning System 資材消費計画システムを習得する。
4	SCORモデル	Supply Chain Operation Reference サプライチェーンの可視化による管理技法を習得する。
5	EDI	Electronic Data Interchange 取引業者とのデータ共有システムを習得する。
6	内作／購入分析	生涯トータルコストを基に内作あるいは購入の選択方法を習得する。
7	SRM	Supplier Relationship Management サプライヤ情報管理システムを習得する。
8	バーコード/RFID	バーコードならびにRadio Frequency Identificationの活用方法を習得する



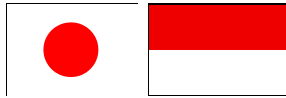
## 5. 調達管理2/2



教育テーマ		教育カリキュラム概要
9	カンバンシステム	カンバンシステムの活用方法を習得する。
10	VMI	Vender Managed Inventory 納入業者への在庫管理委託システムを習得する。
11	ISO認証	各種ISO認証の有効性を習得する。
12	SNI認証	インドネシア国家標準の有効性を習得する。
13	HALAL認証	イスラム戒律の認証の有効性を習得する。
14	BPOM認証	薬品・食品安全性監督庁の認証の有効性を習得する。
15	JITシステム	ジャストインタイムの有効性を習得する。
16	貿易実務	インドネシアの輸入手続きに関する手続きと法規を習得する。
17	危険物取扱	危険物取扱に対するインドネシアの法規を習得する。
18	契約書	納入業者との取引契約書の作成方法を習得する。
参考資料		<a href="#">インドネシアでサプライヤーを見付ける方法</a> <a href="#">インドネシアの中小零細企業との付き合い方</a> <a href="#">工業材料の現地生産会社を探す</a> <a href="#">インドネシア特有の協同組合KOPERASI</a>



# 6. 生産管理1/3



目指す人材像		販売計画と生産能力が最適となる生産計画および在庫計画を立案することが出来る。
学歴、年齢、職級		大学卒業、30歳以上、課長または課長候補
教育テーマ		教育カリキュラム概要
1	CPFR	Collaborative Planning Forecasting Replenishment 協業による計画立案、予測立案、補充システムを習得する。
2	ERP	Enterprise Resources Planning 企業基幹業務管理システムを習得する。
3	MRP	Material Requirements Planning System 資材消費計画システムを習得する。
4	SCORモデル	Supply Chain Operation Reference サプライチェーンの可視化による管理技法を習得する。
5	EDI	Electronic Data Interchange 取引業者とのデータ共有システムを習得する。
6	内作／購入分析	生涯トータルコストを基に内作あるいは購入の選択方法を習得する。
7	バーコード/RFID	バーコードならびにRadio Frequency Identificationの活用方法を習得する
8	TPS	Toyota Production System トヨタ生産システムの実施方法を習得する。



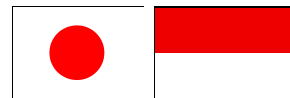
## 6. 生産管理2/3



教育テーマ		教育カリキュラム概要
9	カンバンシステム	カンバンシステムの活用方法を習得する。
10	VMI	Vender Managed Inventory 納入業者への在庫管理委託システムを習得する。
11	ISO認証	各種ISO認証の有効性を習得する。
12	SNI認証	インドネシア国家標準の有効性を習得する。
13	HALAL認証	イスラム戒律の認証の有効性を習得する。
14	BPOM認証	薬品・食品安全性監督庁の認証の有効性を習得する。
15	JITシステム	ジャストインタイムの有効性を習得する。
16	危険物取扱	危険物取扱に対するインドネシアの法規を習得する。
17	契約書	外注業者との取引契約書の作成方法を習得する。
18	環境規制対策	排水、排気、廃棄物に対する法規制を習得する。
19	小集団活動	改善提案制度、QCサークル活動、危険予知活動の導入方法を習得する。
20	TQM	Total Quality Management 全社的、全組織的な品質管理活動の導入方法を習得する。
21	セル生産	一個作り生産システムの導入方法を習得する。



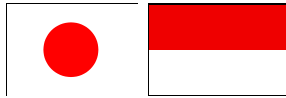
## 6. 生産管理3/3



教育テーマ		教育カリキュラム概要
22	シックスシグマ	シックスシグマでの品質改善方法を習得する。
23	クロスドッキング	クロスドッキングに対応した生産方式の導入方法を習得する。
24	CAD/CAM	Computer Aided Designに連結したComputer Aided Manufacturingシステム導入方法を習得する。
25	自動化	生産ライン自動化の手法を習得する。
26	設備保全	生産設備や機械の保全管理システムの構築方法を習得する。
参考資料		<a href="#">インドネシア工場現場改善の秘訣</a> <a href="#">インドネシア工場小集団活動導入の秘訣</a> <a href="#">インドネシア生産現場人材育成のポイント</a>



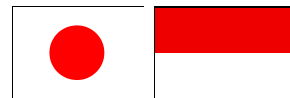
# 7. 販売管理1/2



目指す人材像		市場の需要と自社の供給能力が最適となる販売計画および在庫計画を立案することが出来る。
学歴、年齢、職級		大学卒業、30歳以上、課長または課長候補
教育テーマ		教育カリキュラム概要
1	CPFR	Collaborative Planning Forecasting Replenishment 協業による計画立案、予測立案、補充システムを習得する。
2	ERP	Enterprise Resources Planning 企業基幹業務管理システムを習得する。
3	SCORモデル	Supply Chain Operation Reference サプライチェーンの可視化による管理技法を習得する。
4	EDI	Electronic Data Interchange 取引業者とのデータ共有システムを習得する。
5	バーコード/RFID	バーコードならびにRadio Frequency Identificationの活用方法を習得する
6	ISO認証	各種ISO認証の有効性を習得する。
7	SNI認証	インドネシア国家標準の有効性を習得する。
8	HALAL認証	イスラム戒律の認証の有効性を習得する。
9	BPOM認証	薬品・食品安全性監督庁の認証の有効性を習得する。



# 7. 販売管理2/2



教育テーマ		教育カリキュラム概要
10	クロスドッキング	クロスドッキングに対応した生産方式の導入方法を習得する。
11	契約書	販売先との取引契約書の作成方法を習得する。
12	TQM	Total Quality Management 全社的、全組織的な品質管理活動の導入方法を習得する。
13	カンバンシステム	カンバンシステムの活用方法を習得する。
14	JITシステム	ジャストインタイムの有効性を習得する。
15	危険物取扱	危険物取扱に対するインドネシアの法規を習得する。
16	CRM	Customer Relationship Management 顧客情報管理システムを習得する。
参考資料		<a href="#"><u>インドネシア工場のサプライチェーンを改善する</u></a> <a href="#"><u>インドネシア工場のサプライチェーン改善技法</u></a>



## 8. 顧客管理

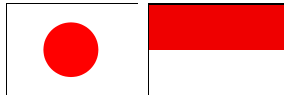


目指す人材像	顧客の声の活用、顧客からの苦情処理、返品処理業務を遂行することができる。	
学歴、年齢、職級	大学卒業、30歳以上、課長または課長候補	
教育テーマ	教育カリキュラム概要	
1	顧客ニーズ分析	顧客ニーズを知るための情報収集から分析までの手法を習得する。
2	顧客苦情対応	クレームの受理、伝送、対応の仕組みとルール構築方法を習得する。
3	返品プロセス	不良品、過剰品、MRO品の返品プロセス構築方法を習得する。
4	CRM	Customer Relationship Management 顧客情報管理システムを習得する。
参考資料		





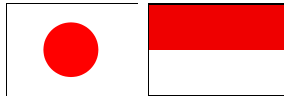
# 9. 人材管理



目指す人材像	人員計画から退職までの、人材に関する一連の業務を企画して遂行することができる。
学歴、年齢、職級	大学卒業、40歳以上、課長または部長
教育テーマ	教育カリキュラム概要
1 人員計画	長期事業計画に沿った、人員計画を立案する手法を習得する。
2 人材採用	職種に合った募集、人選、面接の手法を習得する。
3 人材教育	各職種に必要な短期、中期、長期の、教育計画を企画し推進する手法を習得する。
4 人事評価	相互に連携した人事評価制度と賃金テーブルの作成と更新の手法を習得する。
5 異動解雇	定期的な異動の実施方法ならびに解雇手続きの方法を習得する。
6 人事情報	従業員一人一人の人事情報を管理し、活用する方法を習得する。
7 就業規則	労働法を理解し、就業規則を維持更新する方法を習得する。
参考資料	<a href="#">インドネシア人材マネジメントのコツ</a> <a href="#">インドネシア生産現場人材育成のポイント</a> <a href="#">従業員の定着率を高める方法</a> <a href="#">インドネシア人材採用面接のコツ</a> <a href="#">インドネシア工場の就業規則作成の要点</a> <a href="#">人事評価制度の作り方</a> <a href="#">インドネシア国内大学トップ25の紹介</a> <a href="#">インドネシア国内技術専門学校で人材を見付ける</a> <a href="#">技能実習生帰国者の中から人材を見付ける</a>



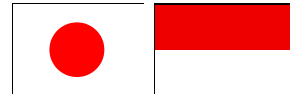
# 10.情報管理



目指す人材像	会社に適した業務用のIT導入を企画し、それによる業務速度、精度、品質の向上を実現出来る。	
学歴、年齢、職級	大学卒業、30歳以上、課長または課長候補	
教育テーマ	教育カリキュラム概要	
1	業務プロセス	業務プロセス毎に、IT化の是非を判断し、導入するための手法を習得する。
2	ソフトウェア	各業務別のソフトウェアあるいはパッケージソフトを評価し、自社に適したソフトを選択する方法を習得する。
3	システム運用	ソフトウェアを導入して、日々の業務を運用するための手法を習得する。
4	システム拡張	事業の拡大による業務の変化に合わせて、システムを拡張するための手法を習得する。
5	セキュリティ管理	データの流出や盗難、あるいは外部からの侵入を防ぐための、対策の取り方を習得する。
参考資料	<a href="#">インドネシア工場管理情報システム導入時の準備事項</a>	



# 11.財務管理



目指す人材像		企業のリソースである人・物・金の中の金を、最適な形で計画し、運用し、その結果を適切に報告することが出来る。
学歴、年齢、職級		大学卒業、40歳以上、課長または部長
教育テーマ		教育カリキュラム概要
1	年度予算作成	中期事業計画に沿って、翌年度の月次予算を作成する手法を習得する。
2	月次仮決算報告	毎月の予実績報告と、年度末での着地予想を試算する手法を習得する。
3	資金繰り	外国為替予約も含めた最適な資金調達、あるいは余剰資金の運用を計画し遂行する手法を習得する。
4	税務処理	税法に則り、前払納税、源泉徴収、付加価値税納税などを処理する手法を習得する。
5	給与支払い	勤怠記録による調整、社会保険控除、所得税源泉徴収を適切に処理する方法を習得する。
6	原価差異	原価差異を正しく試算し、次年度の原価計算に反映させる手法を習得する。
7	減価償却	設備機械毎の減価償却と実際の使用状況が合致していることを確認する手法を習得する。
参考資料		<a href="#">簿記を知らない人のためのインドネシア工場経営</a> <a href="#">わるわかりインドネシアの税制</a> <a href="#">インドネシアの減価償却ルール</a>



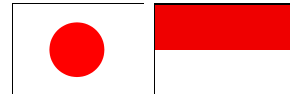
# 12.環境管理



目指す人材像	環境保護のための規制を理解し、自社工場がそれを遵守するための対策を遂行し、監視することが出来る。	
学歴、年齢、職級	大学卒業、30歳以上、課長または課長候補	
教育テーマ	教育カリキュラム概要	
1	排水処理	地域の排水処理基準を遵守ための対策を習得する。
2	排気処理	地域の排気処理基準を遵守ための対策を習得する。
3	廃棄物処理	地域の有害物処理基準を遵守ための対策を習得する。
4	ゴミ処理	地域のゴミ処理基準を遵守ための対策を習得する。
5	安全衛生	従業員の生活環境の衛生状態、そして作業上の安全対策を適切に実現するための方法を習得する。
参考資料	<a href="#">インドネシア工場の環境対策</a>	



# 13. 渉外管理



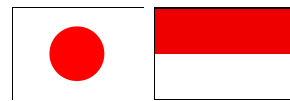
目指す人材像	自社と利害関係を持つ組織・団体あるいは個人との関係を、良好かつ有益に維持することが出来る。
学歴、年齢、職級	大学卒業、30歳以上、課長または課長候補
教育テーマ	教育カリキュラム概要
1 株主、コミサリス	定期あるいは臨時株主総会の開催手続き、ならびにコミサリスへの対応の仕方を習得する。
2 専門組織	公認会計士、法律事務所、公証人事務所との、良好かつ有益な関係を維持する方法を習得する。
3 政府機関	管轄する中央政府ならびに地方政府の担当部署との、良好かつ有益な関係を維持する方法を習得する。
4 業界団体	利害関係を持つ業界団体との、良好かつ有益な関係を維持する方法を習得する。
5 労働組合	企業内労働組合の執行委員会、ならびにその上部組織との、良好かつ有益な関係を維持する方法を習得する。
6 地域社会	郡長、区長、村長、地区長、隣保長との、良好かつ有益な関係を維持する方法を習得する。
参考資料	<a href="#">これだけは知っておきたいインドネシアの政治体制</a> <a href="#">まるわかりインドネシアの労働組合</a>



# 14.知財管理



目指す人材像		インドネシアの法律の下において、自社の知的財産権を守るための対策を講ずることが出来る。
学歴、年齢、職級		大学卒業、30歳以上、課長または課長候補
教育テーマ		教育カリキュラム概要
1	特許	インドネシアの特許法を理解し、専門機関を通じて申請手続きを進める方法を習得する。
2	登録商標	インドネシアの商標法を理解し、専門機関を通じて申請手続きを進める方法を習得する。
3	侵害訴訟	特許あるいは商標が違法に侵害された場合の、法的措置の進め方を習得する。
参考資料		



## インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです  
(Googleトップランキング)

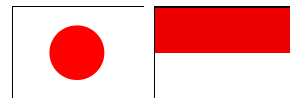
## インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています

## インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、  
全てのコンテンツは無料で公開されています**



ご清聴ありがとうございました  
ここからは質疑応答です